

鳥越俊太郎・木村 朗 [編]

捜査権力とメディアの
共犯関係を問う!

20人の識者がみた 「小沢事件」の真実

小沢一郎(序言)
三井環
仙波敏郎
鈴木宗男
佐藤栄佐久
石川知裕
植草一秀
郷原信郎
川内博史
有田芳生
小川敏夫
八木啓代
青木理
高野孟
二木啓孝
山口一臣
神保哲生
浅野健一
マーティン・
ファクラー

日本文芸社

捜査権力とメディアの共犯関係を問う!
20人の識者がみた「小沢事件」

の真実

鳥越俊太郎
木村 朗

[編]

日本文芸社



9784537260526



1920031016001

ISBN978-4-537-26052-6
C0031 ¥1600E

定価: 本体1600円+税

日本文芸社

鳥越 俊太郎 (とりごえ しゅんたろう)

1940年3月生まれ。福岡県出身。毎日新聞大阪本社社会部、東京本社社会部、テヘラン特派員、「サンデー毎日」編集長を経て、同社を退職後、1989年より活動の場をテレビに移す。現在、「ニュースの職人」として、さまざまな番組のキャスターやコメンテーターとして活躍中。2005年の大腸がん発覚以来、がん患者やその家族を対象とした講演活動も積極的に行っている。主な著作に、「ニュースの職人—「真実」をどう伝えるか」「報道は欠陥商品と疑え」「拉致疑惑」と帰国 ハイジャックから祖国へ」などがある。

木村 朗 (きむら あきら)

鹿児島大学教員、平和学専攻。1954年8月生まれ。北九州市小倉出身。現在川内原発差し止め訴訟原告団副団長を兼任。主な著作は、単著「危機の時代の平和学」、共著「広島・長崎への原爆投下再考 日米の視点」、編著「九州原発ゼロへ 玄海・川内原発の廃炉をめざして」、共編著「終わらない占領 対米自立と日米安保見直しを提言する!」など。平和問題セミナーを主宰。インターネット新聞NPJに論評「時代の奔流を見据えて」を連載中。